

～～第7989回～～

赤岳

～H28.8.6-7～

八ヶ岳の主峰、赤岳から硫黄岳へ縦走する。藤枝を自家用車で出発。5:13 新東名岡部 IC から 52 号線を経由して中央道小淵沢 IC で下り、8:12 美濃戸着。赤岳山荘に車を止め、駐車料金(2日分 2000 円)を払う。美濃戸山荘前を通り分岐を右手の南沢に入る。ホテイランの群生地らしく保護ロープの囲いが数ヶ所ある。厚い苔に覆われた樹林下を沢沿いに登っていく。急に視界が開け広い河原に出ると、もう少しで行者小屋だ。山小屋前の広場は賑わっており、空いたテーブルを探し昼食をとる。阿弥陀岳に登るため、文三郎道を左手に分け中岳道に行く。急な登りに息が切れる。やっと着いた中岳のコルにザックを置いて、阿弥陀岳へ登る。垂直に近い崖を往復して、まだ遙か先に見える赤岳を目指す。中岳を越え急斜面をジグザグに登り、最後の岩場をよじ登るとやっと頂上だ。湧き上がる雲の中、赤岳頂上山荘を横目に天望荘までもう一下り。寝床を確保し、人で溢れる小屋前の狭い広場で寛ぐ。コーヒーは飲み放題、食事はバイキング形式で食べ放題、五右衛門風呂もある。今夜は満員。大部屋組は一畳に二人で、シュラフに潜り込んで寝る。

(2日目)快晴、富士山が雲の上に浮かんでいる。硫黄岳までは途中、岩場・鎖場があるものの、楽しい尾根歩きだ。天望は最高。昨日登ってきた山々が一望できる。チシマギキョウやコマクサは沢山咲いているが、チョウノスケソウはチングルマのような羽毛状の種になっている。時期が遅いせいか、全体的に花が少ないように感じる。横岳から硫黄岳を経て、赤岩ノ頭からは長い下りになる。1時間程下って赤岳鉱泉のベンチで休憩する。北沢に沿って樹林帯を下り続ける。堰堤広場からは林道になり、最後は南沢登山口と合流する。美濃戸の駐車場から車を出し、もみの湯(500 円)に寄って帰路につく。中央道小淵沢 IC から 16:40 新東名岡部 IC で下りる。

参加者:4名(藤枝4)

天候:①晴 ②晴

地図:八ヶ岳西部

コースタイム: 美濃戸 830…行者小屋 1110-40…中岳のコル 1246…阿弥陀岳 1317…中岳のコル 1348…中岳 1404…赤岳 1522…赤岳展望荘 1555-608…横岳 722…硫黄岳 830…赤岳鉱泉 1000-30…美濃戸 1215

記録:藤枝支部 ゆ記



赤岳と富士山



赤岳と阿弥陀岳